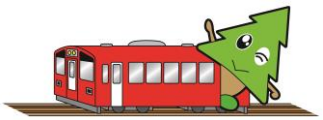
第29回 国民文化祭・あきた2014

北秋田市主催事業報告書

平成26年 10月4日(土)～11月3日(月・祝)

第 29 回国民文化祭北秋田市実行委員会

目　次



内陸線アート ・・・・・・・・ 1

チェンソーアートフェスティバル・ ・ 12

現代詩フェスティバル・ ・・・・ 18

来場者数一覧 ・・・・・・・・ 29

内陸線アート　実施概要

時　期　　平成２６年１０月４日（土）～１１月３日（月・祝）
場　所　　北秋田市内・秋田内陸線沿線地域
総来場者数　13,996名（関係者含む）

イベント	エリア拠点アートプロジェクト
時　　期	平成２６年１０月４日（土）～１１月３日（月）
会　　場	内陸線沿線　鷹巣エリア、桂瀬・浦田エリア、阿仁合エリア、根子エリア
概　　要	別紙地区別事業一覧のとおり

イベント	アーティスト・イン・レジデンス
時　　期	平成26年９月～１０月
概　　要	北秋田市内（根子地区）に滞在して、地域に入り込んで作品制作を実施。 参加アーティスト：KATOxVictoria、拝借景（木村泰平）・アサノコウタ 作品制作：阿仁公民館倉庫（旧森林組合）の改修および造形作品の展示 旧浦田小学校グラウンド　犬の街

イベント	ワークショップ
時　　期	平成２６年７月～平成２７年２月
会　　場	旧浦田小学校　ほか
概　　要	若手アーティストの出前講座や地域住民を巻き込んだアートを通じてのワークショップを開催し、文化芸術への機運を高める。 ・清掃ワークショップ　7月26日旧浦田小学校、8月17日阿仁合会場（宮越家、飛沢家ほか） ・阿仁合にカフェをつくろうワークショップ　8月1日　KATOｘVictoria ・人文字ワークショップ　9月22日　遠藤一郎（秋田北鷹高校） ・緑画ワークショップ　村山修二郎（森のテラス） ・フォトフレームワークショップ　湊哲一　10月４日～11月3日（旧浦田小学校）

イベント	写真展
時　　期	展示　平成２６年１０月４日（土）～１１月３日（月）
会　　場	北秋田市内　内陸線19駅・河哲商店（鷹巣）
概　　要	内陸線沿線の内陸線を愛する人々の姿をアーティストが撮影し、内陸線19駅のホーム及び河哲商店に展示した。 撮影：池田晶紀 撮影時期：８月下旬から９月上旬

イベント	公募展
時　　期	展示　平成２６年１０月４日（土）～１１月３日（月）
会　　場	阿仁ふるさと文化センター
概　　要	全国から内陸線をテーマとした写真や、制作した絵画を募集し、審査、展示した。 募集期間：平成26年４月１日～９月23日 応募数：95点 ・絵画の部　一般13点、小学生低学年19点、小学生中学年17点、中学生1点　計50点 ・写真の部　一般45点 審査会：平成26年９月24日　阿仁ふるさと文化センター 審査員：中井精也（鉄道写真家）、大谷有花（アーティスト・秋田公立美術大学准教授） 中村政人（アーティスト・東京藝術大学准教授）、北秋田市長、仙北市長 秋田内陸縦貫鉄道株式会社代表取締役社長、北秋田市芸術文化協会会長 仙北市芸術文化協会会長 審査の経過 応募作品95点（絵画50点、写真45点）について、審査会を開催し、合議によって、最優秀賞を絵画、写真から各1点、優秀賞及び優良賞を絵画、写真の各クラスから3点選定した。 最優秀賞 絵画の部　湊　直義（一般）「絆、谷間の操車場」 写真の部　工藤美咲（一般）「おばあの小さな旅」

イベント	内陸線29駅プロジェクト（北秋田市・仙北市共通事業）
時　　期	平成２６年６月～１１月
会　　場	内陸線全駅ほか
概　　要	・花いっぱいの内陸線　内陸線駅舎を花で装飾　内陸線19駅（北秋田市管内） ・駅舎ペイント　9月7日　岩野目駅、9月28日　桂瀬駅 ・フットパス　10月12日（日）阿仁合駅～打当温泉、阿仁熊牧場 ・貸切車両イベント　平田オリザ氏の脚本による演劇列車「秋田内陸阿房列車」の上演 10月11日（土）～13日（月祝）　1日２公演　計６公演実施　観客数101名 9月7日（日）プレ上演会開催　事業関係者、報道のほか、公募による一般市民2名も参加 ・ラッピング列車　9月27日から運行開始 秋田公立美術大学指導のもと、角館高校生がデザインしたラッピング列車の運行

内陸線アート事業　地域別実施概要

地域	会　　場	イベント	作家、概要等	実　施　日
阿仁合	宮越家	写真展示	鈴木理策	10月4日～11月3日
	飛沢家	絵画展示	佐藤直樹	10月4日～11月3日
		佐藤直樹アーティストトーク	佐藤直樹	10月5日
	阿仁合公民館倉庫 （旧森林組合社宅）	倉庫の改修	KATOxVictoria	10月4日～11月3日
		造形作品展示	拝借景／木村泰平	10月4日～11月3日
		なべっこミーティング・FM拝借景（小規模FM放送）	拝借景／木村泰平・KATOxVictoria	10月5日、10月19日
	阿仁河川公園	オープニングセレモニー		10月4日　10：30～
	阿仁合小学校グラウンド	気球プロジェクト	パトリシア・ピッチニーニ	10月4日、10月5日
	阿仁合駅内陸線倉庫・資料館	映像作品展示	鴻池朋子	10月4日～11月3日
	阿仁合駅内陸線倉庫	鴻池朋子アーティストトーク	鴻池朋子・聞き手　坂本里英子	10月25日　13：45～15：15
	阿仁ふるさと文化センター	内陸線アート公募展		10月4日～11月3日　9：00～18：00
打　当	阿仁マタギ駅	阿仁マタギフットパス	滝めぐり・熊なべ	10月12日
根　子	根子トンネル	根子フェス（キュレーション・配信）	宇川直宏／DOMMUNE	10月4日　14：45～16：45
		根子フェス （現代舞踏パフォーマンス）	七尾旅人	
			ハチスノイト	
			柊アリス	
			安野太郎	
			真鍋大度	
	笑内～根子集落	根子フットパス	根子番楽鑑賞・体験	10月5日、10月19日
	根子	アーティスト・イン・レジデンス	拝借景／木村泰平・KATOxVictoria　アサノコウタ	
桂瀬、浦田	旧浦田小学校グラウンド	魚座造船所	日比野克彦＋地域住民ほか	10月4日～11月3日
		犬の街	アサノコウタ	10月4日～11月3日
	旧浦田小学校	魚座造船所前夜祭	日比野克彦＋浦田自治会	10月3日　17：00～20：00
		魚座と射手座の造船所トーク	日比野克彦、射手座メンバー、魚座メンバー	11月3日　14：00～16：00
		はざい工房(ショップ)	スタッフ	10月4日～11月3日
		フォトフレームワークショップ	湊哲一	10月19日
		銀牙－流れ星　銀－　の原画複製作品展示	高橋よしひろ	10月4日～11月3日
		地域とのコラボレーション展示	桶樽伝統工芸士　佐藤秋男、アトリエすみよし　ほか	10月4日～11月3日
		浦田の船の秋祭り（トークショー）	高橋よしひろ、普津澤画乃新	10月19日　13：30～14：30
		浦田の船の秋祭り（ライブ）	オムトン・高鳥佑太・tako・柏木妙子・おやじバンドヒネムーズ	10月19日　15：00～17：00
	森のテラス	緑画作成展示	村山修二郎＋前田小学校（3・4年生）	10月4日～11月3日
鷹　巣	河哲商店倉庫	高校生による人文字パフォーマンス	遠藤一郎＋秋田北鷹高等学校生徒	9月22日13：00～
		牛カフェ	ボランファーム（畠山氏）	10月13日、26日
		遠藤一郎アワー（インターネット配信）	遠藤一郎	10月5日、6日
		「陶葬」作品展示	瀬川辰馬	10月4日～11月3日
		おかんアート	都築響一	10月4日～11月3日
	河哲倉庫・内陸線各駅構内	内陸線と沿線に住む人々のポートレイト展示	池田晶紀／ゆかい	10月4日～11月3日
	ＫＩＴＡＫＩＴＡ	熊　彫刻展示	石塚隆則（どくろ興業）	10月4日～11月3日
	旧オータニ洋品店	ｘChange	参加型アート	10月4日～11月3日
	旧秋北バス待合所	映像作品展示	鴻池朋子	10月4日～11月3日
	旧マルジュウ商店	民家リノベーションコンペティション公開講評会		10月11日　14：00～17：00
		民家リノベーションコンペティション　展示		10月4日～11月3日

貸切車両イベント	平田オリザ脚本演出 秋田内陸阿房列車」	プレ上演　角館発13：58－鷹巣着16：17　（１回公演）　※関係者およびプレス関係、一般公募	9月7日
		本公演　　角館発 9：20－鷹巣着11：49　鷹巣発14：37－角館着16：31　（２回公演）	10月11日～13日
車両ラッピング	ラッピング列車運行	角館高校生徒が秋田県立美術大学の指導のもと、授業としてデザイン。　9月26日運行開始	
２９駅プロジェクト	北秋田市	北秋田市側１９駅を花の装飾で飾り付ける「花いっぱいの内陸線」	6月1日～11月3日
		駅舎の装飾ペイント（岩野目駅・桂瀬駅）　地域住民等で実施	9月7日、28日
	仙北市	仙北市側１０駅で花を植えて来場者へのおもてなしを実施	
		無人駅を中心としてテーマを設けてポスター展示を実施	

○公募展受賞者

写真の部

クラス	賞　　名	作品名	氏　　名	県 名
共 通	最優秀賞	おばあの小さな旅	工藤 美咲	東京都
一 般	秋田内陸縦貫鉄道社長賞	春爛漫	小林 旬子	岩手県
	北秋田市長賞	ありがとう	梅村 千代	岩手県
	仙北市長賞	内陸線の一本桜	藤川 正男	秋田県
	優良賞	幻想の時	嶋津 輝一	秋田県
	優良賞	光芒立つ日	土谷 諄一	栃木県
	優良賞	赤い車両	佐藤 成公	秋田県
	優良賞	初秋を走る	八代 恵子	秋田県
	優良賞	Over The Rainbow	小笠原 雅明	秋田県

絵画の部

クラス	賞　　名	作品名	氏　　名	県 名
共 通	最優秀賞	絆、谷間の操車場	湊 直義	秋田県
小学低学年	秋田内陸縦貫鉄道社長賞	たのしいえがおの内りく線	片岡 美澪	秋田県
	北秋田市長賞	てっきょうをわたる、ないりくせん	柴田 諭羅	秋田県
	仙北市長賞	ふしぎな町のないりくせん	佐藤 尊正	秋田県
	優良賞	町の中のないりくせん	松橋 新太	秋田県
	優良賞	がんばる内りく線	相馬 英典	秋田県
	優良賞	はしがこわいよないりくせん	中村 咲愛	秋田県
	優良賞	いろいろなところを通る内りく線	佐藤 蓮	秋田県
	優良賞	どうぶつ園を通る内りく線	堀部 剛生	秋田県
小学中学年	秋田内陸縦貫鉄道社長賞	銀河を走る内陸線	小野寺 理人	秋田県
	北秋田市長賞	海と銀河を走る内陸線	高橋 陸空	秋田県
	仙北市長賞	銀河鉄道内陸線	吉田 優真	秋田県
	優良賞	田んぼを走る内りく線	工藤 羽流	秋田県
	優良賞	うちゅうをはしる内陸線	小森 美玲	秋田県
	優良賞	お花畑の内陸線	吉田 華	秋田県
	優良賞	銀河を走る内陸線	柴田 梨夢	秋田県
	優良賞	THE内陸線	松岡 晃太	秋田県
中学生	秋田内陸縦貫鉄道社長賞	春夏秋冬	成田 有彩花	秋田県
一 般	秋田内陸縦貫鉄道社長賞	マタギの里っていいな！	遠藤 礼一	秋田県
	北秋田市長賞	内陸線で通学	澤井 静江	秋田県
	仙北市長賞	出会いを求めて	佐藤 勝以	秋田県
	優良賞	紅葉の内陸線	加賀 美重子	秋田県
	優良賞	春を走る	小塚 光子	秋田県
	優良賞	共に、永く（阿仁河川公園）	中田 とし子	秋田県
	優良賞	紅葉最前線	佐藤 久夫	秋田県
	優良賞	内陸線を彩る紫陽花	河田 みほ子	秋田県

オープニングセレモニー

エリア拠点アートプロジェクト

阿仁合エリア

根子エリア

桂瀬・浦田エリア

鷹巣エリア

ワークショップ

写真展

公募展

内陸線29駅プロジェクト

演劇列車「秋田内陸阿房列車」公演

マタギフットパス

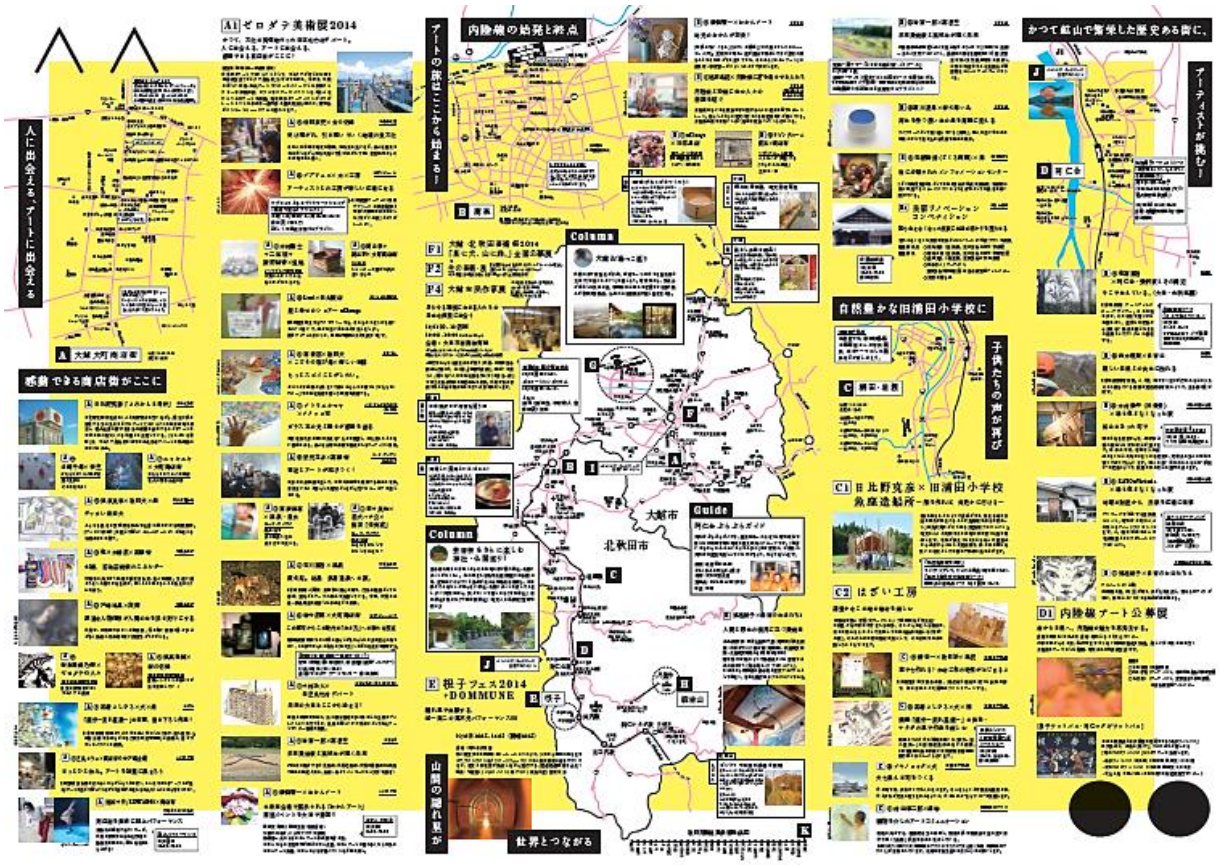
駅舎ペイント

花いっぱいの内陸線

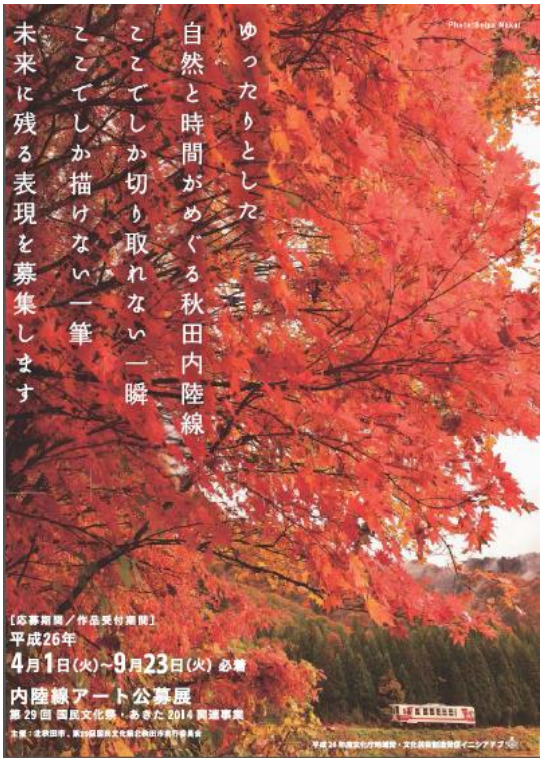
ラッピング列車

チラシ・ポスター等

ガイドマップ



内陸線アート公募展募集要項



平田オリザ演出「秋田内陸阿房列車」チラシ

ポスター

チェンソーアートフェスティバル　実施概要

時　期　　平成２６年１０月１０日（金）～１３日（月・祝）

場　所　　県立北欧の杜公園

総来場者数　9,867名

開催期間：5,290名（関係者含）

展示期間来場者：4,577名（施設管理者まとめ、10月14日～11月3日）

イベント	チェンソーアート公開制作と展示
概　　要	全国のトップカーバー６名を招聘し、直径約80㎝の杉丸太で公開製作を実施。 ・木霊　光（北海道）タスマニア国際大会優勝、ドイツ世界大会日本代表 テーマ：床（とこ）　設置場所：市役所森吉庁舎 ・栗田広行（山形）　東北大会2011、2012、2013優勝 テーマ：家族　設置場所：北秋田市民病院 ・西間　健（岩手）　USAナイアガラ大会バード部門優勝、総合３位 テーマ：森の恵みと先人の知恵　設置場所（予定）：（仮称）生涯学習拠点施設 ・林　隆雄（山口）　全米オープン2012、2013優勝 テーマ：阿仁前田駅へようこそ設置場所：秋田内陸縦貫鉄道　阿仁前田駅 ・伴　正史（長野）　ＴＶチャンピオン　チェンソー王選手権優勝 テーマ：いのり　設置場所（予定）：伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設（仮称） ・高頭義幸（秋田）　東北大会2009優勝 テーマ：北の猛者（もさ）設置場所：秋田県立秋田北鷹高校 制作した作品は11月3日まで会場に展示し、その後各展示場所に設置 新設の施設に設置予定の作品については、市役所森吉庁舎に仮設置

イベント	チェンソーアート体験教室
概　　要	高校生以上の参加者を募集し、講師の指導のもと短時間で可能な作品を制作するチェンソーアート体験教室を実施。 開催日：10月11日～13日 参加者数：25名（一般5名、高校生20名）

イベント	木のアート展　～　北の大地に舞う赤とんぼ大作戦　～
概　　要	市内小学校及び来場者に赤とんぼを製作してもらい、公園内に飾りつけてアート作成。 市内全小学校６年生及び一部５年生で325基を事前に作成し、10月1日から飾りつけ、来場者にも参加いただき合計500基の赤とんぼを設置 作品は、11月3日まで展示

イベント	木に親しむ体験型イベント
概　　要	来場者に木に親しんでもらうための、どんぐりストラップ作りや、木製プランター作りなど、体験イベントを実施。

その他

オープニングイベント

10月10日　午前8時45分　会場本部テント前　　司会　鶴岡慶子

開式のことば　　チェンソーアートフェスティバル企画委員会委員長　福森　卓

主催者あいさつ　　第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長　北秋田市長　津谷永光

メッセージ披露　　金田勝年衆議院議員

来賓紹介　　衆議院議員金田勝年代理　斉藤秘書・北秋田市副議長　長崎克彦
米代東部森林管理署長　傳村充善・北秋田地域振興局長　熊谷淳
北鹿素材生産事業協同組合理事長　新林弘夫

制作者紹介・制作者代表あいさつ　西間健

閉式のことば　　チェンソーアートフェスティバル企画委員会委員長　福森　卓

クロージングイベント

10月13日　12時00分　会場本部テント前　　司会　鶴岡慶子

会式のことば・作品紹介（各制作者より作品紹介）・講評　西間健
主催者あいさつ　チェンソーアートフェスティバル企画委員会委員長　福森　卓

・体験教室講師のご好意により、制作した作品を来場者にプレゼントするじゃんけん大会を実施。

オープニングイベント

公開制作

チェンソーアート体験教室

木のアート展　～　北の大地に舞う赤とんぼ大作戦　～

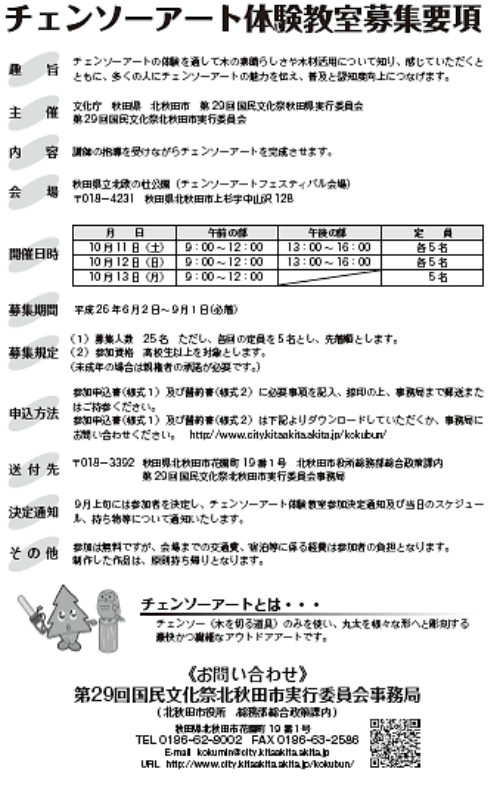
木に親しむ体験型イベント

じゃんけん大会

チラシ・ポスター等

フェスティバルチラシ

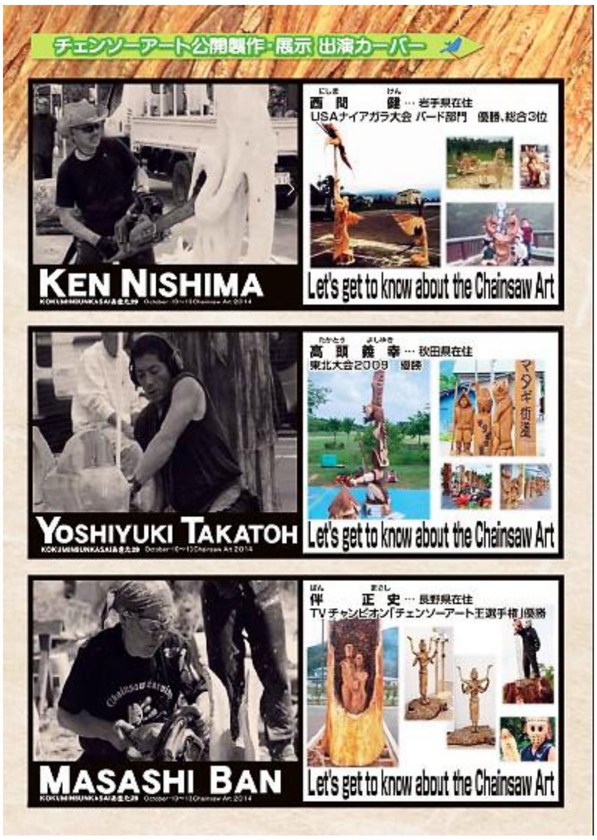
体験教室募集



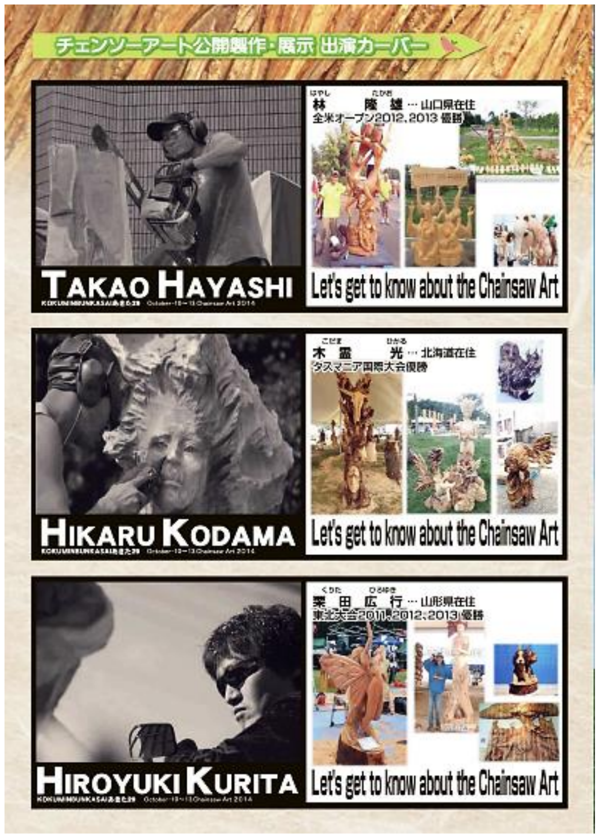
プログラム

第29回国民文化祭・あきた2014
チェンソーアートフェスティバル
北の大地で!! 触れて体験 木のぬくもりを
期間：2014.10.10(金)～13(月・祝)
会場：秋田県立北欧の杜公園
10/10(金)～13(月・祝日)
木のアート展 ～北の大地に舞うまとんぼ大作戦～
木に親しむ体験型イベント
10/11(土)～13日(月・祝)
チェンソーアート体験教室
あんべいいな 秋田県

ごあいさつ
文部科学大臣 下村博文
第29回国民文化祭秋田県実行委員会会長 秋田県知事 佐竹敬久
第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長 北秋田市長 津谷永光



チェンソーアート公開制作・展示 出演カーバー
西間 健…岩手県在住
USAナイアガラ大会 バード部門 優勝、総合3位
KEN NISHIMA
Let's get to know about the Chainsaw Art
高頭 義幸…秋田県在住
東北大会2009 優勝
YOSHIYUKI TAKATOH
Let's get to know about the Chainsaw Art
伴 正史…長野県在住
TVチャンピオン「チェンソーアート王選手権」優勝
MASASHI BAN
Let's get to know about the Chainsaw Art



チェンソーアート公開制作・展示 出演カーバー
林 隆雄…山口県在住
全米オープン2012,2013 優勝
TAKAO HAYASHI
Let's get to know about the Chainsaw Art
木霊 光…北海道在住
タスマニア国際大会優勝
HIKARU KODAMA
Let's get to know about the Chainsaw Art
栗田 広行…山形県在住
東北大会2011,2012,2013 優勝
HIROYUKI KURITA
Let's get to know about the Chainsaw Art

現代詩フェスティバル　実施概要

時　期　　平成２６年１０月２５日（土）～２６日（日）

場　所　　北秋田市内・北秋田市文化会館

総来場者数　951名（関係者・畠山義郎特別展含む）

イベント	**北の風土・詩作の旅**
日　　時	平成２６年１０月２５日（土）　12時30分～17時20分
会　　場	北秋田市内
参加者	３１名
概　　要	市内の自然や文化財などを巡りながら詩を創作 視察先 　北欧の杜公園（チェンソーアートフェスティバル作品） 　旧浦田小学校（内陸線アート「魚座造船所」） 　阿仁熊牧場「くまくま園」 　阿仁異人館・伝承館

イベント	**現代詩フェスティバル交流会**
日　　時	平成２６年１０月２５日（土）　18時00分
会　　場	北秋田市　ホテル松鶴
参加者	５７名
概　　要	審査員、受賞者、関係者等、現代詩フェスティバル参加者の交流会 歓迎のあいさつ　北秋田市長　津谷永光、秋田県現代詩人協会会長　山形一至 歓迎の歌　シンガーソングライター　本城奈々 詩作の旅の表彰、スピーチ

イベント	全国文芸祭現代詩大会
日　　時	平成２６年１０月２６日（日）　９時30分～14時30分
会　　場	北秋田市文化会館
参加者	７３３名（来場者500名、受賞者、関係者233名）
概　　要	オープニングイベント 　駒踊りと朗読「幻想―踊る駒」（作詩：畠山義郎） 　朗読：秋田県立秋田北鷹高等学校演劇部　　駒踊り：上杉獅子踊り保存会 開会式 ・主催者あいさつ及び紹介 　文化庁長官代理　文化部芸術文化課長　加藤敬・北秋田市長　津谷永光 ・審査員紹介　　一次審査員10名、最終審査員9名 ・表彰状授与　3部門、37賞 ・作品選評　審査委員長　朝倉宏哉 ・文部科学大臣賞受賞作品朗読 アトラクション ・書道パフォーマンス　秋田県立秋田北鷹高等学校書道部 ・獅子踊りと詩の朗読　朗読：福司　満　獅子踊り：綴子大太鼓上町保存会 ・対談「地域文化と詩、方言と風土」　伊奈かっぺい・あゆかわのぼる ・秋田の詩群読　秋田県現代詩人協会、朗読ボランティア「やまびこ」 ・次期開催地（鹿児島県南九州市）への引継ぎ・挨拶　南九州市教育長　中村洋志 ・閉会あいさつ　現代詩フェスティバル企画委員長　成田陸雄 ・「浜辺の歌」合唱　　伴奏：金新佐久　歌：コールつくしんぼ 文部科学大臣賞受賞者及び作品名 小学生の部　若松璃胡（秋田県北秋田市立前田小学校一年）「しゅくだい」 中高生の部　佐藤嶺（秋田県北秋田市立鷹巣中学校三年）「君といっしょに」 一般の部　鶴巻大（秋田県）「手」 その他 ・受賞作品の展示 ・畠山義郎特別展　入場者130名 ・作品集ほか書籍販売 ・来場者へのおもてなしとして有志による呈茶サービスの実施 ・交流センター前駐車場にて、世界一の綴子大太鼓の演奏、特産品の物販等実施

イベント	走れ内陸線★コトバ列車（プレ詩作の旅）
日　　時	平成２６年６月８日（日）
会　　場	仙北市（角館　武家屋敷）
参加者	３４名
概　　要	内陸線で角館へ行き、武家屋敷を散策しながら詩を創作。 往路の車内ではコトバのワークショップを行い、復路の車内では各自感じたことをもとに詩を創り発表した。

○現代詩作品募集状況

募集期間　　平成26年4月1日～6月30日

応募作品数　　4,600篇

小学生	2,549篇
中高校生	1,694篇
一　般	357篇

○審査会開催状況

一次審査選考会

日　時	平成26年7月29日
場　所	あきた文学資料館（秋田市）
内　容	4,600篇から240篇を選抜

最終審査選考会

日　時	平成26年8月26日
場　所	田中田村町ビル（東京都港区新橋）
内　容	240篇から入賞37篇、入選37篇を決定

○審査員

一次審査員

石川　悟朗　　亀谷　健樹　　駒木田鶴子
田口　　映　　寺田　和子　　成田　豊人
福司　　満　　前田　　勉　　山形　一至
吉田　慶子

最終審査員

朝倉　宏哉　（日本現代詩人会前理事）
禿　慶子　（(一社)日本詩人クラブ理事）
亀谷　健樹　（秋田県現代詩人協会名誉会員）
黒羽　由紀子　（(一社)日本詩人クラブ理事）
駒木　田鶴子　（秋田県現代詩人協会副会長）
佐川　亜紀　（日本現代詩人会会員）
柴田　三吉　（日本現代詩人会会員）
高山　利三郎　（(一社)日本詩人クラブ理事）
山形　一至　（秋田県現代詩人協会会長）

○入賞作品

小学生の部

賞　　名	作品名	氏　　名	県　名
文部科学大臣賞	しゅくだい	若松　璃胡	秋田県
国民文化祭実行委員会会長賞	どじょう取り	菊池　飛鳥	岩手県
秋田県知事賞	はじめてのたうえ	菊池　怜史	岩手県
第29回国民文化祭秋田県実行委員会会長賞	おじいちゃんの旅	川田　真穂	秋田県
秋田県教育委員会教育長賞	秋田のお米	杉沢　歩美	秋田県
北秋田市長賞	なみだ	水島　知周	栃木県
第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長賞	ぴあにか	伊藤　颯汰	秋田県
北秋田市教育委員会教育長賞	力士との一日	小畑　玲央	秋田県
日本現代詩人会会長賞	りんごの木	成田　碧泉	秋田県
日本詩人クラブ会長賞	さか上がり	畠山　陸斗	秋田県
秋田県現代詩人協会会長賞	じまんのかじや	西根　若菜	秋田県
北東北子どもの詩大賞委員会委員長賞	おばあちゃんと熊	北林　流夏	秋田県
詩の国あきた詩人賞	山博士	成田　風花	秋田県

中・高校生の部

賞　　名	作品名	氏　　名	県　名
文部科学大臣賞	君といっしょに	佐藤　嶺	秋田県
国民文化祭実行委員会会長賞	一センチでも高く	菅原　亜子	秋田県
秋田県知事賞	永遠の一瞬	松坂　祐太	秋田県
第29回国民文化祭秋田県実行委員会会長賞	自分を見つめて	桜庭　凜花	秋田県
秋田県教育委員会教育長賞	マフラー	小林　真夕	東京都
北秋田市長賞	睡魔	兎澤　光一	秋田県
第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長賞	Let's　See・・・	齋藤　けい	秋田県
北秋田市教育委員会教育長賞	私の自由は存在する	深野　奈那	山口県
日本現代詩人会会長賞	奏でる音と本音(こえ)	吉田　早良	秋田県
日本詩人クラブ会長賞	空に向かって	福森　樹	秋田県
秋田県現代詩人協会会長賞	その先の海へ	齋藤　美桜	茨城県
詩の国あきた詩人賞	春、夏、秋、冬。	山下　琴音	兵庫県

一般の部

賞　　名	作品名	氏名・ペンネーム	県　名
文部科学大臣賞	手	鶴巻　大	秋田県
国民文化祭実行委員会会長賞	ハタハタ	小松　春美	秋田県
秋田県知事賞	犬と歩く	坂本　遊	岡山県
第29回国民文化祭秋田県実行委員会会長賞	指の記憶	水嶋きょうこ	東京都
秋田県教育委員会教育長賞	シャツを洗う	松本賀久子	広島県
北秋田市長賞	分水嶺	吉﨑　光一	青森県
第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長賞	ある助産師の伝言	後藤　順	岐阜県
北秋田市教育委員会教育長賞	白い道程	あさの　まさえ	北海道
日本現代詩人会会長賞	土	髙橋　岑夫	秋田県
日本詩人クラブ会長賞	無常の点滅	菊田　郁	宮城県
秋田県現代詩人協会会長賞	海風に	深町　一夫	福島県
詩の国あきた詩人賞	太郎湯の煙突	野上　卓	東京都

北の風土　詩作の旅

現代詩フェスtィバル交流会

文芸祭現代詩大会

オープニング　駒踊りと朗読「幻想ー踊る駒」

表彰式

アトラクション：書道パフォーマンス

獅子踊りと朗読

伊奈かっぺい　あゆかわのぼる　記念対談

フィナーレ

秋田の詩の群読

次期開催地引継ぎ

「浜辺の歌」合唱

呈茶サービス

世界一の大太鼓演奏

特産品等販売

秋田の詩書画展

畠山義郎特別展

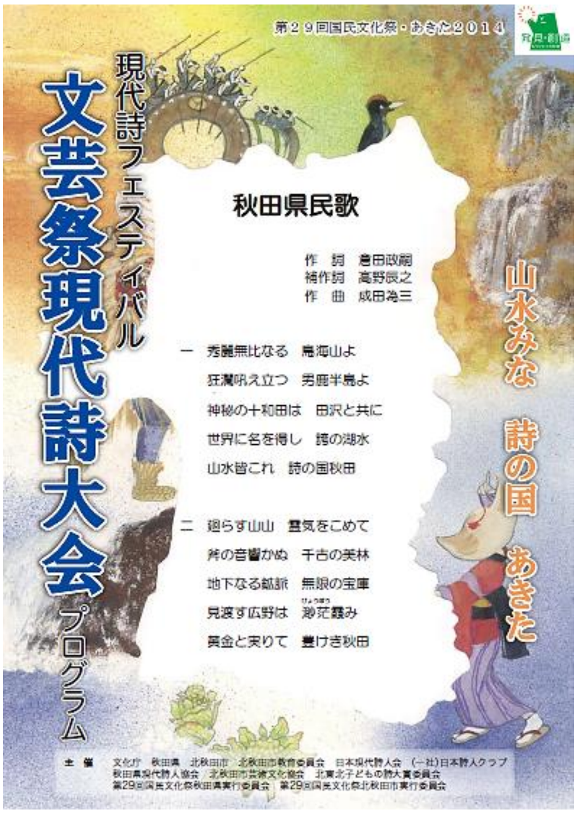
プレ詩作の旅　走れ内陸線★コトバ列車

チラシ・ポスター等

フェスティバルチラシ

詩作品募集

プログラム



秋田県民歌

作　詞　倉田政嗣
補作詞　高野辰之
作　曲　成田為三

一　秀麗無比なる　鳥海山よ
狂瀾吼え立つ　男鹿半島よ
神秘の十和田は　田沢と共に
世界に名を得し　誇の湖水
山水皆これ　詩の国秋田

二　廻らす山山　霊気をこめて
斧の音響かぬ　千古の美林
地下なる鉱脈　無限の宝庫
見渡す広野は　渺茫霞み
黄金と実りて　豊けき秋田

主　催　文化庁　秋田県　北秋田市　北秋田市教育委員会　日本現代詩人会　（一社）日本詩人クラブ
秋田県現代詩人協会　北秋田市芸術文化協会　北東北子どもの詩大賞委員会
第29回国民文化祭秋田県実行委員会　第29回国民文化祭北秋田市実行委員会

伊奈かっぺい

1947年青森県弘前市生まれ。
作家、詩人、イラストレーター、エッセイスト、シンガーソングライター、俳優、ラジオパーソナリティ…と多彩な顔を持つ。以前は㈱青森放送の社員でもあり、２足のわらじで東北地方を中心に幅広いタレント活動・製作活動を行ってきた。
昭和49年方言詩集「消しゴムでかいた落書き」を自費出版。これが「伊奈かっぺい」のユニークな活動のきっかけとなる。日常生活に題材をとったペーソスある独特の笑いの世界を創り上げ、自作の詩を朗読、自作の詩の歌などステージでの活動を続け全国的に幅広いファンを獲得し、昭和61年のテレビのレギュラー出演を機に全国で人気となった。
新聞・書籍でも活躍しており、現在、「産経新聞」、「みんよう春秋」「あおもり草子」などレギュラー欄を担当。岩波書店「図書」、月刊「うえの」、「詩とファンタジー」、「詩人会議」、「俳句界」、「星座」など多くの書籍に執筆している。
現在もＮＨＫラジオ、青森放送ラジオや全国で活躍をしているほか、平成26年３月には最新刊「もっけのさいわい」、CD「津軽から金曜日への手紙」を出版した。
津軽弁と郷土を愛する、津軽弁の日やるべし会の代表の一人も務めている。

あゆかわのぼる

1938年秋田県由利郡下浜村羽川生まれ。
1993年、30数年のビジネスマン生活を終了。フリーランスのライターとして、新聞雑誌の取材・執筆、テレビやラジオの取材・構成や、レポーター、コメンテーターとして番組へレギュラー出演。
自治体、各種団体、企業などの大会や研修会の講師、アドバイザー、コメンテーター、コーディネータなどを務める。
毎日新聞「とうほく彩発見」、「週刊アキタ」、「ゆきのまち通信」「米代新報」「北羽新報」などにルポやエッセー連載中。
20年ほど前から、秋田弁の解説に取り組み、すでに750語ほどを、秋田県民気質論も交えて、読んで楽しいエッセイ風にまとめ、３冊の本として出版。現在、1000語を目指して、インターネットに『秋田弁番鋤記』を連載中！
秋田弁を楽しんでもらう講話、講演もしている。

浜辺の歌

作詞　林　古渓
作曲　成田　為三

一　あした浜辺を　さまよえば
昔のことぞ　しのばるる
風の音よ　雲のさまよ
寄する波も　貝の色も

二　ゆうべ浜辺を　もとおれば
昔の人ぞ　しのばるる
寄する波よ　返す波よ
月の色も　星の影も

第２９回国民文化祭北秋田市実行委員会事務局
〒０１８－３３９２　秋田県北秋田市花園町１９－１　総務部総合政策課内　TEL:0186-62-6606

ごあいさつ

文部科学大臣
下村 博文

第二十九回国民文化祭秋田県実行委員会会長
秋田県知事
佐竹 敬久

第二十九回国民文化祭北秋田市実行委員会会長
北秋田市長
津谷 永光

オープニング

幻想─踊る駒

畠山　義郎

シッサ　シッサ　シッサ　シッサ
シッテ　シッテ　シッテ　シッテ
シッサヤレコレ　ユーエ
シッサ　シッサ
シッサ　シッサ　シッサ　シッサ
シッサ　シッサ　シッサ　シッサ
シッサヤレコレ　ユーエ
シッサ　シッサ
シッサ　シッサ

駒は蹴る　駒は大地を踏み
肩村大きく揺れて
鈴が鳴る

遥か昔の安東水軍
モンゴル馬と北の昆布をはくつては
秋田の湊に陸上げさせた
豪雪多雨を避けながら
仙北平野から奥羽の山越えて
南部の牧場に
秀れた馬を養った

西日本　海の王者
平家を亡ぼしたるは
北の馬を先頭にしてだった

安東水軍の末裔
秋田檜山の殿様は
さぐりにさぐり遠祖のこころ
こころをこめて踊ったは
この駒踊り
檜山川から米代川を
さかのぼりしては小分布した
全国唯ひとつの駒踊り

稲田を耕し
木材を運び
一緒に暮した
苦楽の年月

駒踏み踊りは今やはや
馬影消え果て半世紀
小集落に守られて
年の祖霊の祭りと一緒に
踊りまくるは千年の
人馬一体がこころのこもる
祈る姿のうるわしさ

シッサ　シッサ　シッサ　シッサ
シッサ　シッサ　シッサ　シッサ
シッサヤレコレ　ユーエ

文芸祭現代詩大会プログラム

平成26年10月25日（日）9時30分～14時30分
北秋田市文化会館ホール

第一部　表彰式

司会：本城 奈々

8：30…　開　場
- ●会場BGM：秋田県民歌、北秋田市民歌
- ●秋田の歌・季節の歌：ピアノ　金 新佐久

9：30…　オープニング
- ●駒踊りと朗読　「幻想―踊る駒」（詩：畠山 慎郎）
  - 駒踊り：上杉若勢会（上杉獅子踊り保存会）
  - 朗　読：秋田県立北鷹高等学校　演劇部　2年　関 俊平
  - 2年　多賀谷 美穂

開　会
- ●主催者あいさつ
  - ・国民文化祭実行委員会会長　文化庁長官　青柳 正規
  - ・第29回国民文化祭北秋田市実行委員会会長　北秋田市長　津谷 永光
- ●審査員紹介

10：00…　表彰式
- ●表彰状授与
- ●作品選評
  - 文芸祭現代詩大会審査委員長　朝倉 宏哉（日本現代詩人会）
- ●文部科学大臣賞作品朗読
  - 小学生の部、中・高校生の部、一般の部

11：30…　休　憩
- ●親子の大太鼓
  - 親子大太鼓上町保存会

第二部　とどろけ北のさけび

12：30…　歓迎アトラクション
- ●書道パフォーマンス
  - 秋田県立北鷹高等学校 書道部　1年　櫻田 萌恵、佐藤 恭良
  - 2年　佐藤 輝、中嶋 大輝、佐藤 明日香、長崎 静歌、原田 歩美、飯田 駿斗
- ●獅子踊りと朗読
  - 獅子踊り：親子大太鼓上町保存会
  - 朗　読：秋田県現代詩人協会　副会長　福司 満

13：00…　記念対談
- ●テーマ「地域文化と詩、方言と風土」
  - 作家・詩人・タレント　伊奈かっぺい
  - 詩人・エッセイスト　あゆかわのぼる

14：00…　フィナーレ
- ●秋田の詩の群読
  - 駒木 田鶴子、平塚 鈴子、宮腰 道子（秋田県現代詩人協会）
  - 三澤 民子、小坂 和子（朗読ボランティア「やまびこ」）
- ●次回開催地への引継
  - 秋田県北秋田市から鹿児島県南九州市へ
- ●次回開催地あいさつ
  - 第30回国民文化祭南九州市実行委員会会長　南九州市長　霜出 勘平
- ●閉会のことば
  - 国民文化祭北秋田市現代詩フェスティバル企画委員会委員長
  - 北秋田市芸術文化協会会長　成田 隆雄
- ●『浜辺の歌』全員合唱
  - ピアノ　金 新佐久
  - コーラス　コールつくしんぼ

14：30…　閉　会

入賞者紹介

文部科学大臣賞	小学生	しゅくだい	秋田県 北秋田市立前田小学校 一年	若松 琉胡
	中・高校生	君といっしょに	秋田県 北秋田市立鷹巣中学校 三年	佐藤 穏
	一般	手	秋田県	鶴巻 大
国民文化祭実行委員会会長賞	小学生	どじょう取り	岩手県 奥州市立木細工小学校 四年	菊池 寛島
	中・高校生	一センチでも高く	秋田県 北秋田市立森吉中学校 二年	菅原 亜子
	一般	ハタハタ	秋田県	小松 泰美
秋田県知事賞	小学生	はじめてのたうえ	岩手県 奥州市立木細工小学校 一年	菊池 怜史
	中・高校生	永遠の一瞬	秋田県 大館市立田代中学校 二年	松坂 祐太
	一般	犬と歩く	岡山県	坂本 遊
第二十九回国民文化祭秋田県実行委員会会長賞	小学生	おじいちゃんの旅	秋田県 大館市立長木小学校 六年	川口 真穂
	中・高校生	自分を見つめて	秋田県 大館市立第一中学校 三年	桜庭 凛花
	一般	指の記憶	東京都	水嶋 きょうこ
秋田県教育委員会教育長賞	小学生	秋田のお米	秋田県 大館市立東館小学校 四年	杉沢 歩美
	中・高校生	マフラー	東京都 学校法人桜蔭学園桜蔭中学校 二年	小林 真夕
	一般	シャツを洗う	広島県	松本 賀久子
北秋田市長賞	小学生	なみだ	栃木県 宇都宮市立中央小学校 五年	水島 知岡
	中・高校生	睡魔	秋田県 大館市立第一中学校 三年	更澤 光一
	一般	分水嶺	青森県	吉崎 光一

第二十九回国民文化祭北秋田市実行委員会会長賞	小学生	ぴあにか	秋田県 北秋田市立大阿仁小学校 一年	伊藤 颯汰
	中・高校生	Let's See…	秋田県 大館市立南中学校 三年	豊藤 けい
	一般	ある助産師の伝言	岐阜県	後藤 順
北秋田市教育委員会教育長賞	小学生	力士との一日	秋田県 大館市立南小学校 三年	小畑 玲央
	中・高校生	私の自由は存在する	山口県 県立山口高等学校 三年	深野 奈緒
	一般	白い道程	北海道	あさの まさえ
日本現代詩人会会長賞	小学生	りんごの木	秋田県 大館市立桂城小学校 二年	成田 碧泉
	中・高校生	奏でる音と本音（こえ）	秋田県 北秋田市立阿仁中学校 二年	吉田 早良
	一般	土	秋田県	高橋 岑大
日本詩人クラブ会長賞	小学生	さか上がり	秋田県 北秋田市立綴子小学校 四年	畠山 詠斗
	中・高校生	空に向かって	秋田県 北秋田市立阿仁中学校 三年	福森 椋
	一般	無常の点滅	宮城県	菊田 郁
秋田県現代詩人協会会長賞	小学生	じまんのかじや	秋田県 北秋田市立前田小学校 三年	西根 若菜
	中・高校生	その先の海へ	茨城県 茨城大学教育学部付属中学校 三年	豊藤 美優
	一般	海風に	福島県	深町 一夫
北東北子どもの詩大賞委員会委員長賞	小学生	おばあちゃんと熊	秋田県 大館市立長木小学校 六年	北林 流夏
詩の国あきた詩人賞	小学生	山探士	秋田県 北秋田市立鷹巣西小学校 五年	成田 凪花
	中・高校生	春、夏、秋、冬。	兵庫県 神戸市立六甲アイランド高等学校 一年	山下 琴音
	一般	太郎湖の煙突	東京都	野上 卓

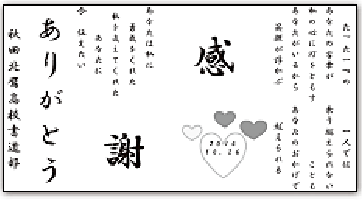
歓迎アトラクション

《書道パフォーマンス》

秋田県立秋田北鷹高等学校　書道部　発表テーマ『感謝』

秋田北鷹高校書道部は、全員が一等をとることを目標に毎日の練習を頑張っています。また、「書」を通じて地域の方々と交流を深める活動にも積極的に取り組んでいます。

今回の書道パフォーマンスでは、『日常生活の中で生まれてくる感謝』を自分達の言葉で表現しました。学校生活では友達に相談にのってもらったり、勉強を教えてもらったりと感謝したいことがたくさんあります。そういった日頃の感謝が伝わるように一生懸命頑張ります。



愛と恋の「獅子踊り」

福司　満

幼少の頃ぁ
神社の境内で
獅子踊り見でらきゃぁ
どこだんでら
異様だ感情コなってしゃぁ
青獅子ぁ
ぼんぼん跳ねれば
黒獅子ぁ
追駆げで
背中コ引張てぇ　首コ挿めでぇ
どっちが　どっちだが分がらね程い戯でぇ
それでも
チャランノレー　チュウレイライって
笛ど太鼓で　囃子めがしてしゃぁ
赤獅子ぁ
ぼさっと立ってらきゃぁ
何い思えだしだんでら

しなしなど擂り足で
その喧嘩コさ入ってぇ
青獅子さ　ぴたっと体コくっつけで
んだがど思えば
黒獅子の腕コさ掴がて
チャランヒラ　チャランヒラってしゃぁ

四百年前のむがし
佐竹の殿様ぁ
常陸国がら国替さえで
なんもかも無聊してら頃い
あっちの村でも
こっちの村でも
チャランノレー　チューレイライって
殿様どご慰めだったどぉ

そんだごど　どうでもええども
んだども
よぐ見でみれ
あれだば悋気諍だべぇ
旅先での夫婦ぁ
若者ね　若妻ぁ略奪えで
夫ぁ　狂気なてしゃぁ
叫んで　探して　立ち向って

漸く元の鞘さ収めだって話だぁ

あれがら
四百年もの間ぁ
なんだんでら　よぐ分からねども
誰もが
ん　ん　んって
相槌ばり打って
見物してれば
ぼかぁーっと温コきてぇ
踊ってみれば
愛だの　恋だのって　胸底さ密ど隠れでぇ
あーあぁ
これだば俺等の生様だぁ
ずうと　ずうと
この村コさ残しておくべぇ
んだべぇ
そだべぇ

国記録選択無形民俗文化財
「綴子の大太鼓」より獅子踊り

綴子の大太鼓は、鎌倉時代の弘長二年（一二六二年）以前、山伏法印神楽から創案されたものとして、大鼓囃流、獅子踊り、源平白赤行列に加えて御湯立神楽などがおこなわれたものという。それぞれの行事は個別におこなっていたもので、雨乞い・日和上げ、五穀豊穣を祈願したものであった。江戸時代元禄年間（一六八八〜一七〇四年）には祭礼行事に統合され、さらに棒術、奴踊りなどを加えていった。現在は綴子大太鼓といっても大太鼓だけではなく、獅子踊り、奴踊り、棒使い、大名行列から構成されている。

大太鼓の囃子は、雨乞いや豊作祈願に大きな音の威力を出すためとして、上町を徳川方、下町を豊臣方とする武者行列の編成として、その出陣にあたり獅子踊りを演じて競い合うようになったとされる。

綴子の獅子踊りは、一人立ち一頭獅子舞で両親獅子と小獅子というもので邪気を祓い正気を帰するものとして、ブッコミ・本踊り・山に隠れる・見つけて三匹で暮らす・お礼の踊りという五つに舞態が分かれている。

県内各地に伝わる獅子踊りには、雄獅子二匹が雌獅子一匹を巡って激しく踊るものもあり、今回の詩はそちらを基にして書かれたものです。

群読

秋田の詩の群読

朗読　駒木田鶴子
平塚鈴子
宮腰道子
三澤民子
小坂和子

無何有の里
—河辺　五郎谷地にて

苴刈山の野火つけ
終わったら

山のかんこ
風吹けかんこ
そして
季節を行く
太陽が昇るみちを行く

季節は
積みかさねても

しょせん跳ぐも
消えてゆくのだが
木の葉　谷地にのこる

山のかんこ
風吹けかんこ
幹をたたけば
とろろんと
音は空に消えてゆく
人はこの大地にのこる

山のかんこ
風吹けかんこ
うしなうものもなく
いとなみはつづく

つぶり　と水の玉
行くよ
土くれを
融かしこみながら

岩見川と仲内川のあわい
人いとなみ
地にみずのたま

山のかんこ
風吹けかんこ
気はただよう
いま無何有の里に

青鷺のうた

出羽の国アギタに
カミをみた

霧がはれると
青鷺が一羽
化石の貝をついばんでいた
駒ヶ岳から太平の峰を伝ってきた
山からのことばは
鷺の飾り羽を微かにふるわせる

いまなんじら幸いなりや
平成の既往毀い来て
富裕略取
民を害う

かつて恩荷は比羅夫に従い
駒ヶ岳は火を噴いた
男鹿の海はつめたくたぎり
青葉が雨のように散る
青鷺は静かに立つ
青なきコトノハの中に

いまわれら幸いなりや
文明の桎梏となりて
公民失楽
己を乱す

シズの青鷺よ
悲しくないか
青ざめて
山気は谷沿いにただよい

ヒナの青鷺よ
辛くはないか
海流は穏やかにその気
河口をのぼり

綿綿するからくりの綱が
遥かな天を穢い
無機にココロけばだち
あの日の誓いはささくれる

鎮もれ

いまを
森の木々と海の波に返し
いまを
とりもどそう

アギタよ
オンガ彦
陽の子
よみがえれ
素朴に

出羽の国アギタには
いまもカミがいる

水無月のうた
—大潟の湖うみ

日が長いのは
いのちの長さではない
ゆるやかな水色の夕べ
それはしずかな寂しい夕べ
鳥が流れていったあと
かすかな湖田がかたむいて
きょうは終わる

日が長いのは
なげきの深さではない
のびやかな藍色の夕べ
それははるかな寂しい夕べ

鳥が啼いていったあと
かすかな音がいろあせて
きょうは終わる

きみよ
水無月のきみよ
きみはあの暮れゆく空とうみの
なにがいとしいか
なにがゆかしいか
きょうがおわる遠い日に
なにをおしむのか

湖うみの切なさ
湖うみのかそけさ
水無月の大潟
潮流の露わなひろがり
それら行きどころ無いのびやかさ
日は暮れてゆく
あの男鹿半島のむこうの海に

素顔なのか
広がりと時と
満たるかなたへの
かすかな不信は
かすんだかなたへの
ゆるやかなたゆたいとなる

阿仁の風

金の風と光の芽
マタギの里それはアクラ

月は満ち　また欠けて
銀の雨ふりそそぎ
いのちは生まれる

わたしが落ちついた
大洋と湖または海のあわいは
北緯四十度の山懐だった

木の葉の色かわり
風吹けば風
いつもたわわれのように
わたしはねむりからさめる
仮想がもえて息づく

ああ　いつのまに
そのときもふと目覚めると
真っ黒に繁栄という名の喧騒
わたしはひたすら目をつぶっていた

金鉱山には山王丸七兵衛
斎岡八右衛門はあかがね掘
異人船金で掘って

いまカラミ山は澄んだ空におしだまる

金の風銀の雨

風吹けば吹け
雨雪はほほえむ

いまわたしは
だれにも気づかれないように
ふかく息をする

失われるものが自然で

春がとても美しく萌え
夏が爽やかすぎてかなしくて
秋の実りに悄然とし
やがてそぼふる雨がみぞれになり
そしてすべては白にうばわれる
それは始まり
しんとして　しかし
山に風の音
海に波の音
満ちる音は
地平線と水平線の
泣き声と笑い声を消す

わたしらは
冬に身を投げ
ただ再生を祈る

風は愛撫と浸透をくりかえし
ひろくながくくろくなびく
土はゆっくりと燃え
あかくふかくおもくひらく

それじゃあ行こうか

詩　佐々木久春

一九三四年宮城県仙台市生まれ。東北大学大学院博士課程修了（国文学）。現在、秋田大学名誉教授。文学博士。中国黒龍江大学名誉教授、同河北大学客員教授。秋田県現代詩人協会、日本現代詩人会、日本詩人クラブ各会員。秋田風土文学会会長。

主な著書に『日本文芸論争』『近松文芸の研究』詩集『羽州閑方』、編訳『現代中国詩集』、絵本『はまなすはみた』などがある。秋田市在住。

写真　小松ひとみ

一九五六年秋田県角館町（現・仙北市）生まれ。県立角館南高等学校卒業後、銀ユニチカバスケットボール部に在籍。八三年から藤明会勤務。写真家千葉克介氏に師事。九九年独立。小松ひとみ写真事務所設立。

主に北東北の四季をテーマとし、そこに生きる人々にも目を向ける。〇八年地元角館町に常設ギャラリー「ぶかぶ館」をオープン。写真集に『光彩』がある。仙北市角館町在住。

第29回国民文化祭あきた2014　来場者数

イベント名	来場者数	関係者数	計	備　　考
チェンソーアートフェスティバル	**9,327**	**540**	**9,867**	
開催期間中	4,750	540	5,290	10月10日～13日
終了後展示期間	4,577	0	4,577	10月14日～11月3日
現代詩フェスティバル	**2,414**	**237**	**2,651**	
北の風土詩作の旅	29	2	31	10月25日
交流会	57		57	10月25日
文芸祭現代詩大会	500	233	733	10月26日
畠山義郎特別展	128	2	130	10月26日
畠山義郎特別展（合川公民館分）	1,700		1,700	10/4～11/3
内陸線アート	**13,500**	**496**	**13,996**	
展示　河哲商店	3,438	31	3,469	10/4～11/3
展示　キタキタ	4,700	31	4,731	10/4～11/3
展示　旧森林組合	798	70	868	10/4～11/3
展示　宮越家	415	31	446	10/4～11/3
展示　飛沢家	377	62	439	10/4～11/3
展示　公募展	271	8	279	10/4～11/3　芳名帳記入者
展示　旧浦田小学校	1,369	62	1,431	10/4～11/3
展示　魚座造船所	1,357	31	1,388	10/4～11/3
展示　森のテラス	466	31	497	10/4～11/3
根子フェス	150	20	170	10月4日
演劇列車	101	24	125	10月11日～13日
根子フットパス	44	94	138	10月5日、19日　2回
マタギフットパス	14	1	15	
JOMON　ART　フェスタ	**120**		**120**	県主催事業
合　　計	**25,361**	**1,273**	**26,634**	

平成26年11月21日　実行委員会とりまとめ

第 29 回国民文化祭北秋田市実行委員会
事務局：北秋田市総務部総合政策課

平成 27 年 3 月作成